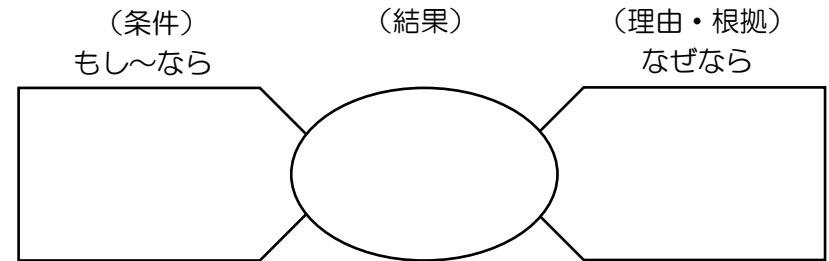


キャンディチャート

条件（もし～が～だったら）、結果（～になる）、理由（なぜなら～だからだ）という形で、仮定にもとづいて結果を「見通す」ことや「推論する」ことをうながす。結果はキャンディの本体部分に記入する。推論の方向性は、リボンがせまくなることで表している。

主人公の行為が違っていたらどうなるかなど、条件が変わったら、結果がどのようになるのかを予想することは少なくない。その条件と結果を明示し、同時になぜそのような結果になるのかについて根拠を求める図式である。

キャンディチャート



【使い方】

- ①条件や背景状況について、変えてみたい事柄を見付けさせる。事象を成立させている条件が複数ある場合は、その条件を洗い出してから「何を変えるか」検討させると、変えてみたい事柄が見つかりやすい。
- ②「もしその事柄が～なら」という条件部分を左側のひねり部分に書き入れさせる。
- ③それぞれの予想の結果を ○ の中に書き入れさせる。
- ④そして、そう予想した理由や根拠を右側のひねり部分に書き入れさせる。
- ⑤各自の予想について発表し合い、その確からしさについて話し合う。

キャンディチャート 例 小学4年社会「水はどこから」

